

一般社団法人 GOLD 日本委員会

2014 年度

事業報告書

計算書類

監査報告書

自 2014 年 4 月 1 日

至 2015 年 3 月 31 日

事業報告書

2015年6月1日

一般社団法人 GOLD 日本委員会

2014年度*事業報告書

(*2014年4月1日～2015年3月31日)

I.法人の状況に関する重要な事項（事業の経過及びその成果）

1. 啓発事業

1-1. ホームページによる情報発信

概要： ・年間を通じてホームページ（www.gold-jac.jp）で COPD の疾患情報、統計情報等を発信し、また、各地で行われるイベント情報の発信を行った。
・ イベント情報の発信を充実させるため、イベント登録を促進した。
・ 新しい GOLD ガイドラインの改訂のポイントに関するコンテンツを追加する（日本語版）ことを計画していたが、本年度は実施されなかった。

結果： 2014年度アクセス数：

アクセス数： 490,672PV ユニークユーザー数*： 234,928UU

*月次ユニークユーザー数の累計。月ごとで重複あり。

2. 啓発支援事業

2-1. 自治体の啓発活動支援

概要： 健康日本 21（第二次）の指針にしたがって啓発活動に取り組む自治体や団体を支援するため、啓発活動のノウハウや資材を案内・提供した。

実施時期： 2014年4月～2015年3月

内容・結果： ① メールマガジンの配信：

- ・ 内容： 自治体や団体が行う COPD 啓発活動を支援するために GOLD 日本委員会が実施しているサポートの内容を案内。
- ・ 配信先： 2012年度に実施した「COPD 啓発活動についてのアンケート」でメールアドレスを登録した 280名（自治体担当者 133名含む）、および 2014年度 COPD 講習会来場者アンケートで配信日までにメールアドレスを登録した自治体担当者 26名。
- ・ 配信件数： 306件
- ・ 配信時期： 2014年10月1日（水）

② 啓発活動の登録状況：

- ・ 2014年度のイベント登録件数：
42件

③ 啓発ツールの作成および提供：

- ・ 有償で提供した啓発ツール
提供方法： ホームページでイベント・プラン登録後に遷延する啓発ツール申し込みフォームから注文を受け付け、宅急便等で発送
申込件数： 18件

提供資材	2014年度作成数	実費	送料	2014年度提供数
小冊子「肺の病気 COPD ってなんだろう」	5万部	10円 / 冊	実費	4,800冊
GOLDリボン ピンバッジ	5,000個	100円 / 個	実費	160個
GOLDリボン 応援団ステッカー	法人設立前に 作成	5シートまで 無償	実費	19 シート
COPD集団 スクリーニング 質問票 (COPD-PS)	ディスカバリー COPD研究会 からの支給	無償	実費	135冊

- ・ 無償で提供した啓発ツール
提供方法： イベント・プラン登録者に自動配信メールでダウンロードページを案内

提供資材	仕様
世界 COPD デーポスター	PDF データ 2 種
勉強会用パワーポイント	Microsoft PowerPoint データ
ポスター・チラシテンプレート	Microsoft Word データ各 2 種
肺年齢チェック体験説明書 (検査質問票)	PDF データ
GOLD リボン応援団印刷データ	Adobe Illustrator および PDF データ 2 種
COPD 集団スクリーニング質問票 (COPD-PS)	PDF データ

2-2. 自治体担当者向け COPD 講習会の実施

概要： 2013年度COPD講習会（特別協賛事業）から継続して展開。重点事業として位置付け。ディスカバリーCOPD研究会との共催事業として実施し、法人の本予算にも計上し運営を行う。2014年度は7会場で実施し、2013年度とあわせて全国16都道府県で開催した。

対象： 自治体の健康政策担当者

実施概要： 附属明細書に記載

基本プログラム： 附属明細書に記載

開催概要：

	開催日時	会場	参加団体数
北海道会場	2014/7/22(火) 14：30～17：00	北海道第二水産ビル4階会議室	26団体（53名）
名古屋会場	2014/7/24(木) 14：30～17：00	中土木事務所ビル職員研修室9階第一研修室	19団体（54名）
大阪会場	2014/8/21（木） 15：00～17：30	ナレッジキャピタルカンファレンスルームC05	13団体（17名）
熊本会場	2014/9/29（月） 14：30～17：00	熊本市男女共同参画センターはあもにいメインホール	・団体（67名） ※県で集計したため団体数不明
島根会場	2014/10/31（金） 14：30～17：00	島根大学医学部みらい棟4階ギャラクシー	11団体（18名）
新潟会場	2015/1/21（水） 13：20～14：50 16：20～16：50	新潟県自治会館講堂	9団体（21名）
鹿児島会場	2015/1/30（金） 14：30～17：00	マリンパレスかごしま「カトレア」	・団体（約90名） ※県で集計したため団体数および正確な参加人数不明

結果：① 37.7%（29/77）の団体が COPD 認知度向上に向けての事業を本年度に実施予定または検討中であると回答した。半数以上の自治体は本年度の事業実施予定を持っていない。

また、実施予定事業の内容は以下の通り。

- ・ 健康イベントでのリーフレット配布、ポスター掲示、問診票実施
 - ・ 広報誌での PR
 - ・ 市民向け COPD 講演会
 - ・ 禁煙教室での周知
 - ・ 自治会の役員への講演会
 - ・ 特定健診担当者向け研修会
 - ・ 健診へのスパイロ検査導入 など
- ② 本講習会をヒントに今後啓発事業を前向きに検討しようと思ったかという質問に、80.5%（157/195名）の参加者が「思った」と回答した。
- ③ スパイロによる肺機能チェックの実際/体験については、地域での実施に向けて、前向きな相談や疑問（費用や機器の調達について等）も多く寄せられ、自治体による COPD 啓発活動でのスパイロ実施に対し、興味を持っていただけだったことが伺えた。
- ④ 講習会に参加した自治体から、後日、啓発活動登録、啓発ツール申し込み、スパイロ検査実施業者紹介依頼、講師派遣の打診などの反響があった。

3. 認知度把握調査事業

3-1. COPD認知度把握調査

概要：健康日本21（第二次）の指標として取り上げられたGOLD日本委員会の調査と同じ方法論で、認知度の推移を調べた。

実施時期：2014年12月8～11日

内 容： 全国 10,000 人の成人男女を対象としたインターネット調査

実施概要：

	予備調査	本調査
方法	インターネット調査	
調査期間	2014.12.8-10	2014.12.9-11
調査対象	マクロミル社調査パネルの中から性(男・女)、年代(20代・30代・40代・50代・60歳以上)別に1,000人ずつを均等ランダム抽出した10,000人	予備調査でCOPDが「どんな病気かよく知っている」と回答した人の中から性(男・女)、年代(20代・30代・40代・50代・60歳以上)別に11人ずつを均等ランダム抽出した110人
調査内容	Q1. あなたはCOPD(シー・オー・ピー・ディー)という病気を知っていますか? Q2. あなたは「肺年齢」の検査について知っていますか? Q3. 「COPDの早期発見に肺年齢の検査が有効である」と言われていることを知っていますか?	Q1. COPD(シー・オー・ピー・ディー)という病気について知ったのはいつですか? Q2. どのような経路でCOPDについて知りましたか? Q3. COPDの原因の90%以上は喫煙であることを知っていますか? Q4. 喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性を知っていますか? Q5. COPDの主な症状は慢性的な咳と痰(たん)、息切れであることを知っていますか?

- 結 果：
- ① COPD の認知度は 30.1%で、2013 年の調査で初めて達成した 30%以上を維持した。
 - ② 2009 年から 2010 年にかけての 3 回の調査では、COPD の認知度は 17%台で変化がみられなかったが、2011 年に 25.2%、2012 年に 28.1%、2013 年に 30.5%と上昇した。2014 年は 2013 年とほぼ変わらない認知度だった。
 - ③ COPD を「どんな病気かよく知っている」と回答した 110 人に、COPD を認知した時期について尋ねたところ、「最近 1 ヶ月の間」に COPD について知った人が 7.3%と、2013 年 (2.7%) の 2.7 倍に増加した。
 - ④ COPD 認知経路の第 1 位は 2013 年と同じく「テレビ」だったが、その人数は減少した。第 2 位は 2013 年と同じく「医師や医療関係者から聞いて」。続く「インターネット」は 2013 年より大幅に増加し、「新聞」を抜いて第 3 位となった。

プレスリリース配信状況：

- ① 配信日：
2014 年 12 月 19 日 (金)
- ② 配信方法：
本町記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブへの持ち込みおよびインターネットプレスリリース配信サービスの AEROPRES、内外総合通信社を通じて配信。
- ③ プレスリリース本文：
附属明細書に記載。

メディア掲載状況：

メディア掲載数：1 件

4. 調査研究事業

4-1. 「COPDの併存症に関する疫学調査」の論文投稿

概要： 順天堂大学の呼吸器外科手術例中の気流制限を示す症例の頻度および併存疾患の種類について、2013年APSRにてポスター発表を行った。2014年度は英語論文を作成し、Lungに投稿した。

実施時期： 2014年4月～

タイトル： Impact of airflow limitation on perioperative states of thoracic surgery.

論文作成： 順天堂大学 吉見 格 先生

結果： Lung に投稿し、現在掲載についての返事待ち。

4-2. COPD 早期診断につながる疫学研究プロジェクトの実施

概要： 当法人の事業目的の一つである「COPDの併存症に関する疫学調査」に関連する多施設の研究を促進することを目的に、睡眠呼吸障害（SDB）とCOPDをテーマとし、多施設による研究を実施した。

実施時期： 2014年4月～2015年3月

テーマ： 「睡眠呼吸障害（SDB）とCOPD –疫学と病態に関する後ろ向き研究」

分担研究者： 順天堂大学医学部附属順天堂医院 呼吸器内科 塩田 智美 先生

東京大学医学部附属病院 老年病科 山口 泰弘 先生

日本医科大学呼吸ケアクリニック 呼吸器内科学 石井 健男 先生

東北大学大学院医学系研究科 産業医学分野／呼吸器内科 小川 浩正 先生

結果： 研究実施計画を策定し、各実施施設でデータ入力等を進めた。

5. 追加事業

5-1. 日本 COPD サミットの実施

概要： 11月19日（水）の世界 COPD デーに先立ち、COPD 啓発に関係する各団体と連携して COPD の認知度をより高めるべく、報道関係者を対象としたメディアフォーラムを開催した。

目的： 健康日本 21（第二次）に「COPD」が掲げられ、啓発活動の活性化に期待が持たれる中、各団体がタッグを組むことでよりインパクトある啓発活動に繋げ、各メディア・自治体・医療関係者・一般市民へのノイズを高める後押しとすることを狙いとする。

主催： 一般社団法人 GOLD 日本委員会

共催： 一般社団法人日本呼吸器学会／公益財団法人日本呼吸器財団／公益社団法人日本医師会／日本 COPD 対策推進会議／慢性呼吸器疾患対策推進議員連盟／日本呼吸器疾患患者団体連合会／COPD 啓発プロジェクト

日時： 2014年11月6日（木） 13時30分～16時00分

会場： 日本医師会館（東京都）

タイトル： 『日本 COPD サミットからの提言』～健康寿命延伸において COPD 予防・治療が果たす役割～

対象： 全国紙科学部、医療部、文化部・生活部の健康・医療担当、医薬・医療療専門紙誌、TV 科学・医療担当など

集客： 対象メディア 261 名へ郵送で案内

プログラム： 附属明細書に記載

内容・結果： ① メディア関連出席者数：
メディア 21 名
② メディア掲載数：
15 件（2014 年 12 月末日現在）
③ 日本 COPD サミットからの提言：
附属明細書に記載

5-2. 第 56 回全日本病院学会 in 福岡 企業展示出展

概要・目的： 医療従事者に対する GOLD 日本委員会の活動の啓発および正会員の募集を目的に、第 56 回全日本病院学会 in 福岡の企業展示でブース出展を行った。

出展主体： 一般社団法人 GOLD 日本委員会

出展協力： 杏林製薬株式会社、チェスト株式会社、ノバルティス ファーマ株式会社

日時： 2014 年 9 月 20 日（土） 9 時 00 分～17 時 30 分

2014 年 9 月 21 日（日） 9 時 00 分～16 時 00 分

会場： ヒルトン福岡シーホーク（福岡県）

出展内容： 資材配布・スパイロ体験・啓発パネル展示

結果： ① スパイロ体験者数： 150 名
② 配布状況： 附属明細書に記載

6. その他

6-1. 日本 COPD 対策推進会議との協働

当法人の日本 COPD 対策推進会議への参画が 2014 年 4 月 28 日（月）に承認され、福地代表理事が同会議の副会長に、長瀬業務執行理事が同じく幹事に就任した。

6-2. 会員募集及び管理業務

ホームページ (www.gold-jac.jp) や学会でのブース出展などを通じ、会員の募集を行った。

2014 年度の会員数は以下のとおり。

特別賛助会員： 10 企業

賛助会員： 4 企業・団体

正会員： 23 名・団体

6-3. 後援名義等の使用承認

2014 年度に以下の 7 件の後援名義使用承認を行った。

許可番号	後援/ 共催	申請者	事業名	承認日	承認の 条件	開催日
0009	後援	公益社団法人 日本医師会	第 7 回 呼吸の日 記念フォーラム (2014)	2014.4.8	特になし	2014.5.11
0010	後援	公益社団法人 日本医師会	日医生涯教育協力講座 セミナー「COPD 診療に いかに取り組むか」 － 新ガイドラインに 沿った診断と治療 －	2014.6.17	特になし	2014 年 1 月～ 2015 年 6 月に 全国の都道府県 で 1 回程度
0011	後援	東京都福祉保健局	医療従事者向け COPD (慢性閉塞性肺疾患) 対策講習会	2014.9.19	特になし	2014.11.19
0012	後援	岐阜県 COPD 対策協議会	岐阜県 COPD 対策事業 市民公開講座	2014.9.26	特になし	2014.10.4-11.9
0013	後援	一般社団法人 徳島市医師会	COPD 啓発事業	2014.9.26	特になし	2014.11.12-26
0014	後援	徳島県市町村 保健師連絡協議会	徳島県市町村 保健師研修会	2014.12.19	特になし	2015.2.6
0015	後援	一般社団法人 日本呼吸器学会	第 8 回 呼吸の日 記念フォーラム (2015)	2015.2.13	特になし	2015.5.9

II.業務の適正を確保するための体制の整備についての決議の内容の概要

1. 役員等に関する事項

2014年6月27日に開催された2014年度定時社員総会において、理事の改選が行われた。また、同日開催された2014年度第2回通常理事会において、代表理事および事務局長、業務執行理事の選任が行われた。

役職	氏名	常勤/ 非常勤	就任年月日	報酬	担当職務	現職名
理事	福地 義之助	非常勤	2012.10.09	無	代表理事	順天堂大学名誉教授
理事	一ノ瀬 正和	非常勤	2012.10.09	無		東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野教授
理事	今村 聡	非常勤	2014.6.27	無		公益社団法人日本医師会 副会長
理事	植木 純	非常勤	2012.10.09	無		順天堂大学医療看護学部専門基礎内科学教授
理事	木田 厚瑞	非常勤	2012.10.09	無		日本医科大学特任教授
理事	瀬山 邦明	非常勤	2012.10.09	無	事務局長	順天堂大学医学部呼吸器内科准教授
理事	永井 厚志	非常勤	2012.10.09	無		東京女子医科大学統括病院長
理事	長瀬 隆英	非常勤	2012.10.09	無	業務執行 理事	東京大学医学部呼吸器内科教授
理事	西村 正治	非常勤	2012.10.09	無		北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野教授
理事	三嶋 理晃	非常勤	2012.10.09	無		京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学教授
監事	工藤 翔二	非常勤	2012.10.09	無		公益財団法人結核予防会理事長

2. 事務局業務に関する事項

昨年度に引き続き、会計事務を含む事務局業務を外部業者である株式会社エム・シー・アンド・ピーに委託した。

委託先： 〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目1番7号 NBF日比谷ビル19階
株式会社エム・シー・アンド・ピー

TEL： 03-3597-0175 FAX： 03-3597-0177

3. 会議等に関する事項

会議名 開催年月日	議事事項
第1回通常理事会 2014.5.13	<p>【議案審議】</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1号議案 2013年度事業報告承認・決算承認・監査報告 2013年度の事業報告書および決算報告書について事務局より説明が行われ、承認された。工藤監事より、業務および経費内容が妥当であるとの監査結果が報告された。 第2号議案 入会承認 正会員入会申請者1名および特別賛助会員入会申請者1社の入会が承認された。 第3号議案 内規の承認 役員選任に関する規定の制定が原案通り承認された。 第4号議案 定款の変更 役員選任に関する規定の制定に伴う定款の一部変更が検討され、承認された。 第5号議案 理事候補者の決定 理事会が推薦する理事候補者を以下の通り決定した。 <ul style="list-style-type: none"> 一ノ瀬正和（東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野 教授） 今村 聡（公益社団法人日本医師会 副会長） 植木 純（順天堂大学医療看護学部専門基礎内科学 教授） 木田厚瑞（日本医科大学 特任教授） 瀬山邦明（順天堂大学医学部呼吸器内科 准教授） 永井厚志（東京女子医科大学 統括病院長） 長瀬隆英（東京大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 教授） 西村正治（北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野 教授） 福地義之助（順天堂大学名誉教授） 三嶋理晃（京都大学医学部附属病院 病院長） <p>【報告事項】</p> <p>2014年度活動進捗報告が行われた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 啓発小冊子改訂増刷について 自治体担当者向け COPD 講習会について 「COPD の併存症に関する疫学調査」の論文投稿について COPD 早期診断につながる疫学研究プロジェクトの実施について 日本 COPD 対策推進会議との協働について 世界 COPD データを軸としたマスメディアへの情報提供について <p>2014年度の収支中間報告が行われた。</p>
定時社員総会 2014.6.27	<p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2013年度事業報告及び計算書類報告 <ol style="list-style-type: none"> 事務局から2013年度事業報告書が説明された。関連して2013年度決算に伴う計算書類の説明がなされた。 議長がその賛否を諮り、原案通り承認された。 監事に監査報告を求めたところ、監査報告書に記載したとおり特段あらたに指摘すべき事項はないとの旨報告があった。 議長がその賛否を諮り、原案通り承認された。 2014年度事業計画及び収支予算報告 <ol style="list-style-type: none"> 議長の指名により、事務局から2014年度事業計画が説明された。関連して2014年度収支予算の説明がなされた。併せて、各事業の進捗状況が報告された。 議長がその賛否を諮り、原案通り承認された。 <p>【決議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1号議案 理事10名選任の件 議長は、理事の全員が本定時社員総会の終結と同時に任期満了し退任することになるのでその改選の必要がある旨を述べた。議長が理事の改選についてその選任方法を諮ったところ、出席社員中から議長の指名に一任したいとの発言があり、一同これを承認したので、議長は下記の者をそれぞれ候補者に指名し、これらの者につき個別にその可否を諮ったところ、以下のとおり選任することに可決確定した。被選任者は席上で即時就任を承諾した。 福地義之助、一ノ瀬正和、長瀬隆英、木田厚瑞、永井厚志、西村正治、三嶋理晃、植木純、瀬山邦明、今村聡 第2号議案 定款一部変更の件 <ol style="list-style-type: none"> 議長は第2号議案定款一部変更の件を上程し、内容について別添資料に基づき説明し、議場に諮ったところ、次のとおりの質疑応答を行った。その後、委任状による賛成を含め社員の議決権の3分の2以上を得たので、原案のとおり承認可決された。

<p>第2回通常理事会 2014.6.27</p>	<p>〔審議事項〕</p> <p>1. 第1号議案 代表理事・業務執行理事・事務局長の選任 代表理事福地義之助は定款の規定により議長となり、理事任期が満了のため代表理事福地義之助が代表理事を退任することになるので、改めて当法人の代表理事を選定したい旨を述べ、慎重協議した結果、全員一致をもって次のとおり選定した。なお、被選定者は、席上で即時その就任を承諾した。 代表理事 福地義之助 同様に、改めて当法人の業務執行理事・事務局長を選定したい旨を述べ、慎重協議した結果、全員一致をもって次のとおり選定した。なお、被選定者は、席上で即時その就任を承諾した。 業務執行理事 長瀬隆英 事務局長 瀬山邦明</p> <p>2. 第2号議案 入会承認 賛助会員入会申請者1社の入会が承認された。</p> <p>〔報告・検討事項〕</p> <p>2014年度事業活動進捗報告・検討</p> <p>1. COPD 早期診断につながる疫学研究プロジェクトの実施について 2. 11月の世界 COPD データを軸としたマスメディアへの情報提供として実施するメディアフォーラムについて 3. 第56回全日本病院学会 in 福岡における COPD 啓発ブース出展について</p>
<p>第3回通常理事会 2014.3.15</p>	<p>【報告事項】</p> <p>2014年度の事業活動について事務局より報告があった。</p> <p>1. 啓発事業：ホームページによる情報発信について（アクセス数） 2. 啓発支援事業： ① 自治体の啓発活動支援について（啓発ツールの作成・提供、ツール申し込みと啓発活動の登録状況、支援のメールマガジン配信について） ② 自治体担当者向け COPD 講演会の実施について（概要、実施状況、結果） 3. 認知度把握調査事業について（2014年12月の認知率が30.1%だったこと、リリース結果） 4. 調査研究事業： ① 「COPDの併存症に関する疫学調査」の論文発表について（現在、Lung に投稿済みで、返信待ち） ② COPD 早期診断につながる疫学研究プロジェクトの実施について（現在各実施施設でデータ入力等が進められている） 5. その他の活動： ① 日本 COPD 対策推進会議との協働について（概要と進捗状況） ② 日本 COPD サミットの実施について（事業の目的と概要、メディア掲載状況、収支等） ③ 第56回全日本病院学会 in 福岡 企業展示出展について（目的と概要、収支） ④ 後援名義等の使用承認</p> <p>2014年度予算の収支予算（通期見込み）の報告が行われた。 2014年度の事業活動および収支予算（通期見込み）の報告を受け、以下の点について討論がなされた。</p> <p>1. 自治体の啓発活動支援について（小冊子の残部数を減らすための対策） 2. 認知度把握調査事業について（公的な機関との協業による市町村単位での定点観測の提案）</p> <p>【議案審議】</p> <p>1. 第1号議案 2015年度事業計画 2015年度事業計画案が原案通り承認された。 あわせて、日本 COPD サミットの共催について、2015年度開催に向けた進捗が報告され、他団体の協力を得ることが提案された。</p> <p>2. 第2号議案 2015年度収支予算 2015年度収支予算案が原案通り承認された。</p>

以上

計 算 書 類

貸借対照表
(平成27年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	金 額	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	1,619,488	買掛金	2,897,632
		未払金	326,160
未収会費	4,000	未払法人税等	70,000
貯蔵品	1,354,899	負債合計	3,293,792
		(正味財産の部)	
		一般正味財産	-315,405
		正味財産合計	-315,405
資産合計	2,978,387	負債・正味財産合計	2,978,387

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費			
特別賛助会費	9,500,000	8,500,000	1,000,000
賛助会費	400,000	300,000	100,000
一般会費	42,000	44,000	-2,000
② 事業活動収入			
共催負担金	7,252,219		7,252,219
寄付金	1,540,000		1,540,000
物品販売収入	91,068	485,525	-394,457
② 雑収益			
受取利息	892	564	328
経常収益計	18,826,179	9,330,089	9,496,090
(2) 経常費用			
① 事業費			
会場費			0
イベント運営費	4,172,284		4,172,284
検査技師手数料			0
啓発支援事業費	8,636,652	1,003,616	7,633,036
論文投稿費	385,560		385,560
調査費用	313,200	364,760	-51,560
ホームページシステム改修費	12,420	903,000	-890,580
旅費交通費			0
物品販売等事業費	115,122	547,539	-432,417
② 管理費			
設立準備諸経費			0
運営費	4,536,000	4,410,000	126,000
通信費	120,896	61,745	59,151
旅費交通費	831,416	489,450	341,966
会議費	267,411	371,423	-104,012
会計決算費用	442,180	315,000	127,180
租税公課	70,179	72,113	-1,934
雑費	86,184	140,799	-54,615
経常費用計	19,989,504	8,679,445	11,310,059
当期経常増減額	-1,163,325	650,644	-1,813,969
当期一般正味財産増減額	-1,163,325	650,644	-1,813,969
一般正味財産期首残高	847,920	197,276	650,644
一般正味財産期末残高	-315,405	847,920	-1,163,325

財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

① 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込処理を採用しています。

(2) 関連当事者との取引内容

該当事項なし。

財産目録
平成27年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 預金	普通預金	手元保管	3,832
		三井住友銀行 神保町支店 当座預金	運転資金として	1,461,673
		ゆうちょ銀行 〇一九店	運転資金として	153,983
		預金合計		1,615,656
	未収会費	特別賛助会員・賛助会員会費	運転資金として	4,000
	貯蔵品	99.66円/個×3,314個	GOLDピンバッチ	330,273
	貯蔵品	23.61円/冊×43,398冊	「COPDってなんだろう」小冊子	1,024,626
	貯蔵品合計		1,354,899	
流動資産合計				2,978,387
資産合計				2,978,387
(流動負債)	買掛金 未払金		事業費・管理費費用の掛金額	2,897,632
			管理費に係る費用の未払い	326,160
		買掛未払合計		3,223,792
	未払法人税等	東京都 法人都民税均等割		70,000
流動負債合計				3,293,792
負債合計				3,293,792
正味財産合計				-315,405

一般社団法人GOLD日本委員会
2014年度経費収支決算報告書

2014年4月1日～2015年3月31日

一般会計

(単位:円)

科 目	2014年度 予算額①	2014年度 実績②	予算との差額③	備考
【収入の部】				
特別賛助会費収入	17,500,000	9,500,000	-8,000,000	
賛助会費収入	300,000	400,000	100,000	
寄付金収入	0	0	0	
寄付金収入(COPD講習会)	0	1,000,000	1,000,000	
寄付金収入(メディアフォーラム)	0	540,000	540,000	
会費収入	40,000	42,000	2,000	
共催負担金(COPD講習会)	0	5,452,219	5,452,219	
特別共催事業活動共催負担金(メディアフォーラム)	0	1,800,000	1,800,000	
事業活動収入	500,000	91,068	-408,932	自治体の啓発活動支援事業
受取利息	451	713	262	
当期収入合計(A)	18,340,451	18,826,000	485,549	
前期繰越収支差額	-1,273,680	-918,560	355,120	
収入合計(B)	17,066,771	17,907,440	840,669	
【支出の部】				
運営費	6,540,000	6,354,087	-185,913	
事務局委託費	4,536,000	4,536,000	0	2014年4月～2014年3月/12ヵ月
会計・決算費用	324,000	361,080	37,080	2014年度決算税理士費用・弥生会計契約更新等
会議費	500,000	267,411	-232,589	委員会、理事会3回
旅費交通費	800,000	831,416	31,416	
通信費	100,000	120,896	20,896	
振込手数料	60,000	38,448	-21,552	振込手数料、EBサービス手数料
地方税(均等割)	70,000	70,000	0	地方税(均等割)・源泉所得税・復興税
雑費	150,000	47,736	-102,264	文具、消耗品等
法人登記費用	0	81,100	81,100	役員変更手続き用 行政書士費用、印鑑証明書・履歴事項全部証明書費用
事業活動費	10,524,000	13,223,657	2,699,657	
1. 啓発事業費	200,000	12,420	-187,580	
ホームページシステム改修	200,000	12,420	-187,580	
その他	0	0	0	
2. 啓発支援事業費	9,000,000	8,340,193	-659,807	
自治体の啓発活動支援	1,000,000	1,253,664	253,664	小冊子改訂印刷、GOLD/バッチ、ツール保管・発送費
自治体担当者向けCOPD講習会	8,000,000	7,086,529	-913,471	COPD講習会準備、運営一式
3. 認知度把握調査事業費	324,000	313,200	-10,800	
インターネット調査	324,000	313,200	-10,800	
4. 調査研究事業費	1,000,000	557,844	-442,156	
パイロット調査	0	0	0	
準備費	0	0	0	
論文投稿	500,000	385,560	-114,440	
疫学研究プロジェクト実施	500,000	172,284	-327,716	
メディアフォーラム(特別共催事業)	0	4,000,000	4,000,000	
メディアフォーラム開催	0	4,000,000	4,000,000	メディアフォーラム準備、運営一式
当期支出合計(C)	17,064,000	19,577,744	2,513,744	
当期収支差額(A)-(C)	1,276,451	-751,744	-2,028,195	
次期繰越収支差額(B)-(C)	2,771	-1,670,304	-1,673,075	

監查報告書

監査報告書

平成 27 年 6 月 1 日

一般社団法人 GOLD 日本委員会

代表理事 福地 義之助

一般社団法人 GOLD 日本委員会

監事 工藤 翔二 ⑩

私たちは平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの平成 26 年度における一般社団法人 GOLD 日本委員会の会計および業務の監査を行い、その結果を報告します。

1. 監査の方法概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会に出席し、理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致、法人の財政状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

以上